

8401 土曜日の午後. . . .

土曜日の午後.

わたしは定時に退社して、まっすぐ家路についた.

家に帰れば、しなければならないことがたくさんある. いろんな勉強やら遊びやら, それにお客さんが来る約束も . . . これで結構忙しいのだ.

土曜が休日にならないかな, と, わたしはときどき思う. わたしの勤めている会社は, まだ週六日制なのだ.

眉村 卓『椅子と雪』

[許容訳例]

Saturday afternoon.

I didn't work overtime, but made straight for home.

When I get home, there are lots of things are waiting to do--work of all kinds, pleasure of all kinds, visitors expected...in my own way, I'm pretty busy.

I sometimes wish I had Saturday off. The company I work for still does a six-day week.

[翻訳例]

Saturday afternoon.

I left the office on the dot and headed straight for home.

When I get home, lots of things are waiting to be done: things for profit, things for pleasure, not to mention any visitors I may be expecting--plenty, in short, to keep me busy.

I sometimes wish they would make Saturday a holiday. The firm I work for still observe a six-day week.

■土曜日の午後. (8401)

★「土曜日の午後」は Saturday afternoon.がいいでしょう. It was を入れても構いませんが, ないほうが日本語と合うと思います.

■わたしは定時に退社して, まっすぐ家路についた. (8401)

★「定時に退社する」に相当する表現として leave the office on the dot という言い方が出来ます. この on the dot は punctually という意味ですが, では on the dot の代わりに punctually が使えるかというと, あまり使いません. 何となく自分を褒めているような感じになるからです. なお, 「定時に退社する」を「残業しないで退社する」とも解釈できますが, その場合には work overtime が一つの決まった表現になっているので I worked no overtime とするのではなく I did not [didn't] work overtime とした方がいいです.

★「まっすぐ家路についた」の「まっすぐに」は「どこにも寄らないで・脇目もふらずに」という意味ですから headed straight for home です. headed の代わりに made を使ってもい

いでしょう。たとえば、The dog made straight for my throat. (喉めがけて襲ってきた) のように使いますから。なお、ここを started straight for home にすると、ちょっと微妙なのですが、どちらかと言うと「会社でグズグズしないですぐ帰った」という感じになります。

● [て] (動作順次)

「わたしは定時に退社し [て], まっすぐ家路についた」の [て] は「動作順次」ですから and で結びます。

■家に帰れば、しなければならないことがたくさんある。(8401)

★「家に帰れば」は特にその日だけのことでなく、「家に帰れば帰ったで」と同じで、「いつものこと」を言っていると解釈して when I get[reach] home です。なお、when I go home は、帰る途中のことを言っている感じになりますから駄目です。

★「しなければならないことがたくさんある」は There are a lot of things to do でもいいと思いますが、there are に続けて a lot of は気になります lots of の方がどちらかと言うと自然のように思います。なお、lots of things の代わりに many things も使えます。また、lots of [many] things を主語にして Lots of [Many] things are waiting to be done. とすることも出来ますし、I have lots of things to do も使えます。

■いろんな勉強やら遊びやら、それにお客さんが来る約束も・・・(8401)

★「いろんな勉強」は難しい。various kinds of studies でも間違いとは言えませんが、ここでいう「勉強」とは「体系的な方法論を踏まえた勉強」(study)ではなく、‘単なる遊びに対して「真面目で何か自分にプラスになるようなもの」’(profit)と思われまふ。したがって、「いろんな勉強」は things for profit ぐらいでいいのではないかと思われまふ。

★「遊び」も things for profit に合わせて things for pleasure くらいかなと思われまふ。「遊び」に amusements も間違いではありませんが、普通、この言葉は自分から進んでやることではなく、たとえば、If you go to that hotel, there are all kinds of amusements. のような場合によく使います。

●文技巧 (～やら～やら) など

「～やら～やら」という表現は、普通、英語では what with... and... が一番近いと思いまふ。たとえば、What with the children and my husband and the shopping and the cleaning the house, there's always something I've got to do./ What with the high prices and high taxes, a month's pay doesn't go very far. のように使いまふ。ただ、what with... を使う場合、どういうわけか、what with all kinds of... とは使わないのです。したがって、「いろんな(all kinds of)」は省かなければなりません。ところで、この構文は「～やら～やら、しなければならないことがたくさんある。」とピリオドで切った場合であって、ここの日本文は「しなければならないことがたくさんある。」と切っていますが、「いろんな勉強やら遊びやら、・・・」は前の内容の具体的な言い換えなので、英語ではダッシュ、あるいはコロンで続けたほうが自然です。その場合は what with... は使わないで済みます。

★「それに」は not to mention を使ってもいいと思いまふ。これは and then とか in addition

ぐらいの意味になります。

●「連体修飾節＋不定代名詞的体言」に見える日本語（お客さんが来る約束）

「お客さんが来る約束」を a promise to have a visitor とすることは出来ません。これは、第三者に向かって「きっと来ていただけますよ」ということになってしまいます。「連体修飾節＋不定代名詞的体言」のように見えますが、「お客さんが来るという約束」という同格節です。しかし、「お客さんが来る約束」という日本語はちょっと収まりの悪い表現に感じられます。たぶん、「（訪ねると）約束している客が来る（こともある）し」のつもりではないかと思われます。その意味なら、日本語と一見違うようですが、I am expecting a visitor. が一番近いと思います。これを利用して any visitors I may be expecting と may を加えると、「必ずしもいつも客が来るという約束があるとは限らないがそういうこともある」という感じになります。

■これで結構忙しいのだ。(8401)

★「これで」とは「私は私なりに」ということですから in one's own way を使います。あるいは、これはあくまで小説の翻訳としてできるだけ自然な英語らしい表現としてですが、ここでは is short も使えると思います。in short というのは「あれやこれやいろいろあるが、まとめてみると」ということで、「これで結構・・・」という表現の訳にもなると思います。なお、「これで」を「人から見ればそれほど忙しそうではなくても」とか「自分[私]なりに」の意味で such as I am は使えません。この言い方は、むしろ「たいしたことはないが」という感じで、たとえば、Well, here is my graduation thesis such as it is.とか She has contented to marry me such as I am.のように使います。

★「結構」は pretty でいいでしょう。

★「忙しいのだ」は I'm busy でいいでしょう。

●客体化した表現（これで結構忙しいのだ）

「これで結構忙しいのだ」という日本語は、自分を客体化した表現のように思われます。これに相当するのは、英語では keep one...という言い方です。たとえば、Shall I give you some more work?----No, thank you. I've got plenty to keep me busy until next week.とか Shall I give you some cigarettes?----No, thanks. I've got plenty to keep me going until tomorrow.とか、もっとわかりやすい例では The amount of gasoline will keep the car going until we get to Tokyo.のように使います。そうすると、「これで結構忙しいのだ」には be busy だけでなく plenty to keep me busy という表現も使えます。

■土曜が休日にならないかな、と、わたしはときどき思う。(8401)

★「土曜が休日にならないかな、と、わたしはときどき思う」は I sometimes wish I had Saturday off.とか、I sometimes wish they would make Saturday a holiday.とか、あるいは I sometimes wish Saturday would be made a holiday.としてもいいでしょう。二番目の文の they は「自分の責任ではない、自分の努力ではどうのものならない類いのこと」を述べる場合の使う they です。なお、wish の代わりに wonder を使うと I sometimes wonder why

Saturday isn't made a holiday.のようになりますが、ここのニュアンスと違うと思います。

◆英語の副詞の使い方

「土曜が休日にならないかな」のところを「土曜が休日にならないかなあ〜,」と解釈した場合、英語ではどのように処理するかですが、英語ではよくいろいろな副詞を使ってそのニュアンスを出します。この場合は wistfully を加えます。I sometimes wish wistfully I had Saturday off.です。

■わたしの勤めている会社は、まだ週六日制なのだ。(8401)

●「連体修飾節＋不定代名詞的体言」(わたしの勤めている会社)

「わたしの勤めている会社」は「連体修飾節(わたしが勤めている)＋不定代名詞的体言(会社)ですから、英語では「名詞(the firm[company])＋関係詞節(I work for [for which I work])」です。

★「まだ週六日制」は still does [observes] a six-day week です。